

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公開番号】特開 2016-202950 (P2016-202950A)
 【公開日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-067
 【出願番号】特願 2016-154797 (P2016-154797)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 12 月 20 日 (2016.12.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

識別情報の可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、前記可変表示手段としての特別図柄表示部と、

画像が表示される画像表示手段と、

前記遊技機の消費電力を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段と、

前記省電力制御に伴って、前記画像表示手段を特定の表示状態とする特定表示状態制御手段と

を備え、

前記画像表示手段は、識別情報の可変表示と同期した表示が行われる第 1 報知領域と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示の状態を報知するための表示が行われる第 2 報知領域とを含み、

前記特定表示状態制御手段は、前記画像表示手段における表示領域のうち、少なくとも前記第 1 報知領域及び前記第 2 報知領域を前記特定の表示状態とせず、

前記省電力制御手段は、デモ演出を指示するコマンドを受信したことに応じて前記省電力制御を行い、

所定の動作を行う可動部材と、

識別情報の可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段と、

可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段と、

前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段と

をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

識別情報の可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、前記可変表示手段としての特別図柄表示部と、

識別情報の可変表示と同期して発光する識別情報発光手段と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示の状態を報知するために発光する普通識別情報発光手段とを含む複数の発光手段と、

前記発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段と

を備え、

前記省電力制御手段は、前記発光手段に対する省電力制御を行う際に、少なくとも前記識別情報発光手段及び前記普通識別情報発光手段に対して前記省電力制御を行わず、デモ演出を指示するコマンドを受信したことに応じて前記省電力制御を行い、

所定の動作を行う可動部材と、

識別情報の可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段と、

可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段と、

前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段と

をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

（１）上記目的を達成するため、本願の第１の観点に係る遊技機は、識別情報の可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段（例えば、第１特別図柄表示装置４Ａ、第１特別図柄表示装置４Ｂ）に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、前記可変表示手段としての特別図柄表示部と、画像が表示される画像表示手段（例えば画像表示装置５など）と、前記遊技機の消費電力を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段（例えば図１５のステップＳ１６０の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、前記省電力制御に伴って、前記画像表示手段を特定の表示状態とする特定表示状態制御手段（例えば図１５のステップＳ３０５の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）とを備え、前記画像表示手段は、識別情報の可変表示と同期した表示が行われる第１報知領域（例えば画像表示装置５における第４図柄表示領域５ａ、５ｂなど）と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示の状態を報知するための表示が行われる第２報知領域とを含み、前記特定表示状態制御手段は、前記画像表示手段における表示領域のうち、少なくとも前記第１報知領域及び前記第２報知領域を前記特定の表示状態とせず、前記省電力制御手段は、デモ演出を指示するコマンドを受信したことに応じて前記省電力制御を行い、所定の動作を行う可動部材と、識別情報の可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段（例えば、演出図柄の可変表示を実行する部分）と、可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段（例えば、演出図柄の可変表示中に予告演出として役物を動作させる部分）と、前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段（例えば、役物を動作により移動した動作位置から本来収容される収容位置に復帰させる復帰動作を行う部分）とをさらに備えることを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

(2) 上記目的を達成するため、本願の第2の観点に係る遊技機は、識別情報の可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段(例えば、第1特別図柄表示装置4A、第1特別図柄表示装置4B)に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、前記可変表示手段としての特別図柄表示部と、識別情報の可変表示と同期して発光する識別情報発光手段と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示の状態を報知するために発光する普通識別情報発光手段とを含む複数の発光手段(例えば遊技効果ランプ9及び第4図柄LED42a、42bなど)と、前記発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段(例えば図15のステップS160の処理を実行する演出制御用CPU120など)とを備え、前記省電力制御手段は、前記発光手段に対する省電力制御を行う際に、少なくとも前記識別情報発光手段及び前記普通識別情報発光手段に対して前記省電力制御を行わず(例えば演出制御用CPU120による図20のステップS405の処理など)、デモ演出を指示するコマンドを受信したことに応じて前記省電力制御を行い、所定の動作を行う可動部材と、識別情報の可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段(例えば、演出図柄の可変表示を実行する部分)と、可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段(例えば、演出図柄の可変表示中に予告演出として役物を動作させる部分)と、前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段(例えば、役物を動作により移動した動作位置から本来収容される収容位置に復帰させる復帰動作を行う部分)とをさらに備えることを特徴とする。